

公開質問状への回答

自由民主党政務調査会

1. 社会保障費 2,200 億の削減を取りやめますか。

本格的な人口減少社会が到来する一方で、国民生活の厳しさが増していく中で、社会保障制度が国民の暮らしを支えるセーフティーネットとしての役割を維持していくためには、給付の合理化・効率化を進めることも必要ではありますが、それにも増して、安定的な財源を確保していくことが重要と考えます。

2. 対 GDP 比医療費を OECD 加盟 25 か国中 18 位以上にまで拡大することを公約できますか。

医療費については、制度や社会的背景の違いなどもあり、単純に国際比較することは困難であるため、対 GDP 比医療費を具体的な公約としてお示しすることは難しいと考えます。

ただし、いずれにせよ、今後、急速な高齢化の進展に伴い、1 人当たり医療費の高い高齢者が増えていきますので、医療費の増大やこれに伴う財政支出の増大は避けられず、安定的な財源を確保していくことが重要であると考えます。

3. これらの財源はどこに求めますか。

社会保障制度については、あらゆる世代で広く負担を分かち合い、制度をしっかりと支える安定的な財源を確保することが必要であり、消費税を含む税体系の抜本的改革を進めていくことが必要と考えています。